

Be Proactive!

このたびの令和8年8月千葉豪雨、石川・富山、福井豪雨、ネパール・中国国境付近の土石流により尊い命を失われた皆様に、謹んで哀悼の意を表します。また、ご遺族の皆様に心よりお悔やみ申し上げます。被災されたすべての方々が一日も早く平穏な生活を取り戻されますことをお祈り申し上げます。

前期後半が始まり始まります



8月25日 新しくなった窓(3の3)

関東地方は8月に入ってからのがあきくがあまり良くなかつたこともあり、昨年にく比べると猛暑日は少ない夏となりました。81年前の広島、長崎への原爆投下と終戦の日のある夏に、今年には熊本ので地震、千葉や石川・富山、福井の豪雨、海外でも大きな災害が続きました。被災された方々のことを思うと、胸の痛む夏でもありました。

学校では、この休み中に校舎の窓枠交換工事が行われ、東側の教室の窓が新しくなりました。(残りは来年度の予定です。) 現在は足場がまだ残っておりますが、まもなく撤去され教室も明るくなることと思います。保護

者の皆様にも、面談の際など、ご不便おかけしました。ご協力ありがとうございました。

長い夏休みも終わり、今日から令和8年度前期後半が始まります。ここからの数ヶ月間は、学校の行事も多くあり、生徒会本部役員選挙も行われ、世代交代した部活動も活発に行われるときです。生徒たちには、まずは前期期末テストが来週に予定されています。3年生はそのあと9月末に修学旅行が待っています。今年から平和学習をメインに長崎方面への旅行となっています。これまでも準備を重ねてきましたが、学びの多い思い出に残る修学旅行にできればと考えています。

残暑はまだまだ厳しい折で、夏バテも出てくる頃かと思ひます。皆様、くれぐれもご自愛ください。9月からも本校の教育活動へのご支援をよろしくお祈りします。

学校の「決まり」(校則)について

夏休み前に、ある保護者の方から登校時の服装についてご意見をいただきました。

7月17日夏休み前の全校集会にて全校生徒に学校の「決まり」(校則)のことについて話をしました。

(<https://www.sumida.ed.jp/terajimachu/shokai/R8pmpbroad.html>)

本校では、「校則」はこれまで毎年生徒の意見を取り入れながら改善をしてまいりました。現在寺島中学校では、「生徒が『主語』になる学校づくり」を進めています。生徒が「主語」の学校では、自分たちが気持ちよく過ごすためにどうすれば良いかを生徒自身が考え、話し合い、合意形成をして、自分

これからの寺中は…

- ・生徒が「主語」になる学校
- ・自分たちの学校は、自分たちで良くする
- ・寺中生が、誰一人いやな思いをすることなく、気持ちよく過ごせるようになるためにはどうしたらよいかを、話し合いを通して考える。

↓
自分たちの決まりは自分たちが決める



たちに必要な「決まり」を民主的に考えればよいのです。

全校集会では、生徒たちに「学校の責任者として私が譲れない一線は礼儀（エチケット・マナー）と触法行為の禁止だけです。」と話しました。前者は、それぞれ違う価値観をもった人が集まる場において、自分の自由が尊重されることを望むのと同じように、他者の自由を侵さないようにするための「思いやり」を大切にしようということです。後者は、日本が法治国家であることに準じて、社会一般で許されないことは、学校の中でも許されないということで、自分の言葉や行いに責任をもつという、主体的であるために欠かせない姿勢です。「人を傷つけること、ものを盗んだり壊したりすることは法で禁止された行為です。これらについては、生徒は失敗することもあると思いますが、その時は反省を促すと同時に、学習として、自分の行為に対する責任を果たしてもらいます。ものを壊せば修理してもらったり、弁償してもらったりします。警察等、外部機関に対処してもらおうこともあるでしょう。しかし、それ以外の『校則』については、生徒が考える部分です。服装のこと、頭髪のことなどについて、生徒の意見がアンケートなどで寄せられています。『～してほしい』という意見は聞きましたが、決まりそのものを決めるのは生徒の手に委ねたい。」と伝えました。

自分たちの手で、自分たちの学校をよりよくする。自分たちが主役なのだということを学ぶよい経験になってくれることを望んでいます。



評価改革（その1） 通知表の見直しについて



生徒が自己肯定感を高め、主体的に生きることができるようにするため、寺島中学校では「評価」の考え方を改めていきます。個々の生徒の良さを見取り、伸ばしていくことを主眼に置いた形成的評価を大切にしていくのと同時に、生徒自身の自己評価を重視し、自己調整力（＝「メタ認知能力」）を養っていきます。

これまでの通知表は、生徒が何を学び、どう変容したのかを正確に伝えるものになっておらず、点数化された結果のみが一人歩きし、生徒の良さを引き出し、伸ばすものになっていませんでした。また、これまでの通知表には生徒の自己評価が反映されていません。

そこで、今年度、下図の「道徳、総合、特別活動の記録、総合所見」のページを以下のように変更いたします。（教科等の観点別評価・評定（これまでの通知表の見開き左ページ）は変更はありません。）

1番 生徒氏名		前 期	
特 別 の 教 科 道 徳 期			
前 期		後 期	
総 合 的 な 学 習 の 時 間			
活 動 内 容	観 点	評 価	
前期			
後期			
特 別 活 動 の 記 録			
学 校 活 動	生 徒 会 活 動	部 活 動	そ の 他
前期			
後期			
出 欠 の 記 録			
出席日数	出席率（％）	欠席日数	欠席率（％）
前期			
後期			
学 校 か ら 家 庭 へ			
		家 庭 か ら 学 校 へ	

○「道徳」、「総合的な学習の時間」の評価

→ 年間1回のみ、後期の通知表に記載。（前期は廃止）

○総合所見、「家庭から学校へ」は廃止。

○生徒の自己評価として、「キャリアパスポート」の充実を図る。

・生徒の自己評価を受け、担任が前期の所見を記載する。

・保護者の皆様からのコメントも記載できる形式に改める。

前期通知表は10月9日にお届けしますが、生徒の自己評価を丁寧に行うために、キャリアパスポートによる前期の振り返りは前期終了後1週間程度（10月16日ころ通知の予定）のお時間をいただきます。

ご理解くださいますよう、よろしくお願いいたします。